

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年12月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101664
法人名	医療法人 三愛会
事業所名	グループホーム 温もり・宇宿
所在地	鹿児島県鹿児島市宇宿一丁目41番14号 (電話) 099-814-7600
自己評価作成日	令和2年4月2日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年12月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成29年9月に開設した、旧谷山街道沿いに位置する2ユニットの改装型グループホームです。公共交通機関(電車、バス)の駅や停留所に近く、交通の利便性が非常に良いため、ご家族や来所される方が訪問しやすい環境にあります。

開設当初から人材育成に力を入れており、年間研修計画を立て、毎月の施設内での研修を実施しており、法人内で開催される合同研修や外部研修へも職員が交代で参加し伝達研修まで行っています。また、資格取得やキャリアアップに向けた取り組みも行っています。

医療法人が運営している事業所という利点を活かし、同一建物の1階に在宅支援診療所を併設し、緊急時にも訪問看護ステーションとの連携で対応可能な他、看護師による日常的な健康管理や、歯科の訪問による定期的な口腔ケアにも力を入れるなど入居者が安心して過ごせる環境を整えています。

- ・当事業所は母体が医療法人であり医療連携体制が24時間整っており、健康管理、緊急時に家族の安心につながっている。
- ・グループホームはビルの2階・3階にあり階下には協力医療機関が設置している。
- ・理念『あったかいハートで最高の温もりをあなたと地域へ』を職員会議で唱和して、勉強会で振り返り共有して実践につなげている。
- ・職員は内部研修や外部研修に参加し資格取得に挑戦している。質の高い介護サービスに取り組んでいる。
- ・管理者は職員の意見や提案を大切にし、家族や職員と信頼関係を築いている。
- ・コロナ禍にあり馴染みの関係や外出支援が制限されているが、工夫して支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼の際に理念の唱和を行っている。理念に沿って常に地域を意識した取り組みを行うように努めている。	理念はホールや分かり易い所に掲示し職員会議や勉強会の時などに唱和し、振り返りや話し合って共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	天気がいい時は職員と一緒に近所へ買い物に出かけます。地域との交流はあまりできていない為、できるだけ夏祭りやバザーへの参加、またボランティアや中学校の職場体験など受け入れができるよう努めます。	町内会の行事や夏祭りに参加していたが、コロナ禍の為、行事は中止になっている。商店街の買い物等に出かけて住民とあいさつをしたり、認知症や介護サービスの相談を受けて地域との交流をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	クリニック看護師の要請で認知症に関する相談やサービスに対する相談を受けている。今後は地域の方々の相談にのれるよう努める。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に一度運営推進会議を開催し、家族の要望や地域とのかかわり方や役割など、意見交換を行なっている。	会議は定期的開催している。事業所の活動やサービス内容などを報告し、意見交換している。「テレビ番組の時代劇を見たい」とか、「外出したい」等、出された意見は職員間で共有しサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議時や直接窓口に通って事業所の実情やサービスの取り組みについて相談している。介護相談員も受け入れている。	市担当者とは窓口に行ったり電話で取り組みを伝えたりして、相談や助言を貰っている。介護保険の更新や居室の空き状況など伝えている。市主催の研修に参加し、介護相談員も受け入れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	問題が出た時には、職員で話し合いを行い、正しい方法を実践している。勉強会は年2回行い、1月は身体拘束の弊害について理解を深めた。	身体拘束廃止委員会を設置し毎月委員会を実施し、法人全体で年2回の勉強会も行っている。転倒防止を図るための身体拘束の必要性等についてテーマを決めて勉強会をしている。外出希望の強い利用者に対して散歩に同行したり、拘束しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会やカンファレンスを行い、注意を利用者の尊厳に向けた取り組みを行っている。自覚がない虐待の危険性について特に認識するように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度を利用されている方が2名入居されている。勉強会を開き全職員理解に努めている、対応は主に管理者が行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ご家族が理解し納得して頂けるように、分かりやすく丁寧に説明するように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議で要望を伺ったり面会に来られた際にも何か要望がないかお聞きしている。また、ホームでの行事に参加して頂く事で関係作りにも努めている。頂いた意見は検討し結果を報告している。</p>	<p>利用者からは、日常の関わりの中で思いを聞いている。家族からは面会や運営推進会議、電話やお便りから意見や要望を把握している。外出させて欲しいとの要望があり、家族や職員と医療機関へ行く時、公園に立ち寄りして気分転換している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や個人面談で職員の意見や提案を聞いている。また、業務連絡ノートも活用し運営に反映するように努力している。</p>	<p>月1回の職員会議や年2回の個人面談の時に意見や提案を聞いている。気づいたことなどを業務連絡ノートに記録し情報を共有している。梅雨時に乾燥機の購入の要望があり購入し、運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>自己評価シートを作成し、1年毎に評価を行い、各職員の適正や得意・不得意を見極め、話し合いの場を設けるなどして職場環境の改善に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症介護実践者研修を中心に内部研修では月1回の勉強会を開催し、外部からの講師を招くなどして研修に参加する機会を設けている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内の事業所とは研修会を通じて交流している。今後は、他グループホームへの研修事例検討を通して事業所外の人材の意見や、経験をケアに行かせるように取り組む。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントに基づいて、今までの暮らしとかけ離れる事のないように配慮し、ご本人やご家族からも要望を聞き、不安にならないようにまた、信頼関係が築けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族一人ひとりに、本人に対する思いを聞き取りし、受け止めた上で安心して頂けるような関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前より、入居者様やご家族から話を伺い、必要としている支援を、必要な時に他のサービスを含め受けられるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様が、今までの暮らしと変わらぬ生活を送れるように、また役割を持って共同生活ができるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が面会に来られた時は話や思いを聞き、本人様の日頃の様子など伝え、今までと変わらぬ関係性が築けるよう支援している。(経過記録)		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまで大切にしてきた人や場所など、関係が途切れないように面会時の対応や外出支援を行っている。(経過記録)	馴染みの関係を本人や家族に聞き、友人・知人の訪問を歓迎しお茶を出してゆっくりしてもらっている。コロナ禍で友人とは手紙や電話で連絡を取っている。年2回美容師の訪問があり、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングで過ごされる時の席など、会話ができる様な環境作りをしまた、職員が間に入りサポートしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後、面会や電話でも介護サービスの利用についての相談や、生活面での相談に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前に入居者様や家族から生活歴や思いを聞き、それを基に24時間シートを作成し、家で過ごしていた時と変わらない生活ができるようにサポートしている。	思いや意向は日常の関わりや家族からも聴き取り、申し送り等で職員と共有している。内容は24時間シートに記入している。聞き取りの難しい利用者には表情や仕草で把握し、その都度職員で話し合っって本人の思いに対応できるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報収集や、医療機関等の情報収集をし、定期的にカンファレンスを開き経過把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	週1回、定期的にカンファレンスを行い、必要時は随時開催し現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	協力医療機関の医師、看護師や訪問看護師、本人、家族との話し合いの場を設け、作成している。	本人や家族の意見を聞き、担当者会議で、主治医・看護師の意見を入れて、日々の記録やモニタリングを参考に介護計画を作成している。モニタリングは毎月、見直しは3ヶ月毎に行っている。状況に変化があった時はその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	パソコンに記録・情報を入力し、業務シートの申し送りを行い共有できるようにしている。情報を元に介護計画を見直している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	定期的な病院受診の際には家族と連絡を取り対応し、他科受診時には、往診や職員付き添いで対応している。新たな支援が必要な時は他業務のスタッフと協議しサービスを提供している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	初詣や夏祭り、バザーなどに参加することで心身の活性化に繋がっているが回数が少ない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	普段の様子をパソコンに記録し、医療機関との情報を共有している。	本人や家族が希望する医療機関での受診を支援しているが、ほとんど同ビル内の医療機関が主治医になっている。他科受診は家族に同行してもらい、結果については、記録を残し情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>定期的に訪問看護師が来所する。記録した情報を看護職とも共有し、介護・看護共に利用者の変化の早期発見に取り組んでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>お互い情報を提供し合い、随時面会面談に出向き、早期退院に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合は、終末期のケアについて、家族の方とも話し合いを行っている、勉強会を通じて医師、看護師を含めカンファレンスを行っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、入居時に本人・家族に説明している。状況が重度化になるに従って主治医が家族や関係者に説明をしている。ホームとしてできる限り家族の希望通りの支援を、家族と協力し取り組んでいる。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>対応マニュアルを作成し、定期的に看護師の指導の下、勉強会や話し合いを行い実践している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>ホームの防災計画の作成を行い、定期的に避難訓練や防災訓練を行っている。地域の協力体制については運営推進会議で協力をお願いしている。</p>	<p>年2回火災と地震の避難訓練を消防署立ち合いの下実施している。今年にはコロナ感染防止の為、自主訓練を実施している。消火器やスプリンクラー・緊急通報装置の点検・避難経路・避難場所の確認等を行っている。備蓄は水・米・レトルト食品・缶詰等、3日分は用意しているが1週間分の見直しも検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方の個性や生活歴などを尊重し、その日着る洋服選びや、美容師によるカットの時の髪の長さなど、自己決定をして頂けるような言葉掛けや支援を行っている。	常時、勉強会や研修会を実施している。入浴時や排泄時の言葉遣い、名前の呼び方はさんづけ、トイレ介助・オムツ交換は、プライバシーや尊厳を傷つけない対応を、居室に入る時はノックする等、ケアの方法などについて職員間で話し合い、質の向上に役立っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話に耳を傾け、その方の意思や思いを引き出すことが出来るよう対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様それぞれの生活のペースや気分を考慮し、自由に生活をして頂けるように声掛けを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	1日の時間や季節を感じて頂けるように、更衣や整容など本人に選んでもらいながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的に食事レクを行い、季節や行事を食事でも楽しんで頂けるようにしている。食事の下準備や片付けも一緒に行っている。	ご飯や汁物はホームで作っている。副食は外部注文である。行事食のおせちや敬老会・誕生会はこちら寿司等、特別メニューで楽しい食事になっている。食事の準備は利用者と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は記録に残し把握するようにしている。又、利用者のその時々状態に応じ摂取しやすいよう刻んだり、とろみをつけたりしながら支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、ご自分で出来る所はしてもらい、仕上げは職員が行う。口腔状態の悪い方には、毎食後口腔ケアを実施し、状態改善を図っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	1人ひとりの力や排泄パターンを理解しており、声掛けやトイレ案内を行っている。トイレでの排泄が出来るだけ継続できるようトイレ誘導を習慣化し支援している。	排泄チェック表で一人ひとりのパターンを把握し、トイレ誘導している。トイレで排泄する事をまず優先的に考えたケアに取り組んでいる。夜のみオムツとポータブルトイレを使用している利用者もいる。水分摂取にも気配りしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	最終排便を確認し、牛乳を勧めたり、腹部マッサージや運動への働き掛けも行っている。それでも、排便がない時は下剤を服薬してもらっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の好みの浴槽の温度調整や入り方を尊重して、ご要望に応じて対応し、入浴を楽しむ事が出来るように支援している。	入浴は週に2回、午後からを目安にしている。失禁時はすぐに清拭や入浴ができるようにしている。水分摂取も入浴前、入浴後にとっている。足浴にも対応して柔軟に支援している。入浴拒否の利用者には入浴日の変更をしたり、時間を於いた声かけをしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの生活のペースで休息したり、落ち着いた雰囲気の中で安心して睡眠がとれるよう環境に配慮し支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に関する勉強会を実施し理解するように努めている。症状の変化について早く気付くように努め、看護師や医師に伝えている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を畳んで頂いたり、野菜の下拵え、食器洗い、ランチョンマット拭き、ビニール袋たたみ等、それぞれ出来る事を無理のない範囲でされ、気分転換を行えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	晴れていて、気温等入居者様に負担が少ない日などは一緒に近くのスーパーに行き、外出支援を行っている、家族との外出や数人での外出など感染症が流行している為、中止している。	以前は、食事に出かけたり、近くの商店街へ買い物に同行したりしていたが、現在は天気の良い日は近くの公園へ2~3人の少人数で出かけている。コロナ感染防止の為、他科受診に限り家族の同行による外出をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は事業所で管理保管している、その方に応じてご家族了解の下、必要な金額をお渡しし使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人様の希望があれば電話が出来る対応をしている。また、ご本人様の携帯電話を使用される場合もある。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の飾りつけを入居者様と一緒に作り、フロア全体に飾ったり、居室内にご自分で塗られた塗り絵等を貼ったりするなど、殺風景にならないよう努めている。	フロアは広くて明るい。換気や採光に気配りしている。壁飾りにちぎり絵や季節感のある作品を飾っている。ソファもあり入居者の座席の配慮をして、居心地よく過ごせるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングでの席は、仲の良い入居者様同士が近くに座れるよう配置したり、あまり話をされない方には積極的に職員が話かけたりと声掛けも工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居される際や入居後でも使い慣れた家具を持ち込めるよう、ご家族とご本人様と話し合いながら、ご本人様が居心地のいい居室になるように工夫している。</p>	<p>エアコン・ベッド・タンス・洗面台を設置している。家から持ち込まれたテレビ・位牌・小型の洋服タンス・家族写真・飾り物が貼ってある。必要性から加湿器もある。家族と相談し居心地よく過ごせるように設営している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室とトイレとの距離、移動範囲など安全面を考慮しながら、自立を目指した工夫をしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない